

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院における原発性中枢神経系リンパ腫の治療経過と転帰に関する後方視的観察研究
研究責任者	血液内科 高羽理光
研究実施体制	本研究は、聖隷浜松病院血液内科における単施設後方視的観察研究として実施します。研究責任者は研究全体の統括、倫理審査申請、研究計画の管理、個人情報保護および研究成果の公表に関する責任を負います。収集したデータは研究用IDを付与して管理し、個人を直接特定できる情報は解析用データセットには含めません。対応表は研究責任者が適切に管理します。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027年12月31日
対象者	2020年1月から2026年12月までの間に聖隷浜松病院血液内科に入院した中枢神経原発悪性リンパ腫の患者さん
研究の意義・目的	原発性中枢神経系リンパ腫は稀な悪性リンパ腫であり、標準治療として高用量メトトレキサートを含む化学療法や放射線治療が行われます。一方で、実臨床では原病の増悪だけでなく、高齢、Performance Status 不良、認知機能低下、せん妄、臓器機能障害、社会的支援不足などにより、予定された治療の実施や継続が困難となる症例も少なくありません。本研究では、当院における原発性中枢神経系リンパ腫患者の治療経過、治療変更・中止理由、治療反応性および転帰を後方視的に検討します。これにより、実臨床における治療選択および治療遂行上の課題を明らかにし、今後の診療方針決定に資する知見を得ることを目的とします。
研究の方法	診療録から以下を調査します。年齢、性別、診断日、診断時の臨床症状、Performance Status、既往歴・併存疾患、病変部位、画像所見、病理組織学的所見、血液検査所見、治療内容、治療開始日、治療経過、治療効果、有害事象、治療中止または変更の有無とその理由、再発・増悪の有無、最終観察日、生存状況、死亡日および死因など
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 血液内科 （氏名） 高羽理光 TEL:053-474-2222(代表) 血液内科外来 9:00～17:00 平日